

五 私病、場合ハ一月間平常通、仕込ニ支給ス其以後ハ按議、結果最前ノ方法ヲトル事

六 不幸ノ事故突發ノ場合ハ金二十圓以上貸與ス但シ返済ノ方法ハ一仕込ニツキ金一圓宛トスル事

七 募金二十圓金十五圓ノ船ノ大小ナク貸與スル事

八 仕込金ハ目下支給額ヲ変更セタル事但シ今後ノ營業状態ニヨリ相互協議ノ上増減スル事

九 仕込金ヲ積出ラシル場合ハ取金ノ四分、一ヲ支給スル事
十 船差廢止ノ件ハ保留ス

十一 積荷貨物ハ勿論船体船具其他附屬品一切ノ取扱ハニ関シ
十二 ハ充分注意シ万一自克ノ不注意又ハ怠慢ノタメ損害ヲ發生セシメタル場合ハ船主全責任ヲ負フ事

十三 自克ノ不品行又ハ犯罪ノタメ損害ヲ及ボシタル時ハ直ニ
十四 下船ヲ命セラル、モ異議ナキ事

十三 店及船差ノ命ニ従フ事万一其ノ命ニ違及シ仕込ニ支給シタル時及前二項ニ能レタルトキハ下船ヲ申渡サル、
モ異議ナキ事

十四 高揚ケ作事ノ場合ハ左ノ通り船主ヨリ補助金ヲ支給スル事
十五 三十日以上ハ金三十圓 六十日以上ニ百圓 場合ハ骨折トシテ宣數トス
十六 三十日以下ハ一日一圓ノ割ニテ支給ス

右及申(通)報候也